

／よくわかる！／

**病害虫防除
マニュアル
きゅうり編**

そーだ、
にほんそーだに
そーだんしょう！



日本曹達株式会社

適期の薬剤散布がポイント!きゅうり作り に、日曹の製品がお役に立ちます。

[] RACコード
ハウスで使用
するくん煙剤

土壌病害・センチュウには…

適用病害虫名など	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
苗立枯病 (ビシウム菌) 苗立枯病 (リゾクトニア菌)	200～400g/m ³	は種 又は 定植21日前 /1回	所定量を加え 十分混和
つる割病、半身萎凋病 白絹病、一年生雑草	20～30kg/10a		所定量を 均一に散布後 土壌と混和

適用病害虫名など	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
つる割病、一年生雑草	40～60ℓ/10a	は種 又は 定植15日前 /1回	※A・B・C
ネコブセンチュウ			※C
苗立枯病 (リゾクトニア菌)	60ℓ/10a		※A
前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、 とうがらし類 又はきゅうりの ネコブセンチュウ蔓延防止	60ℓ/10a	前作の 栽培終了後から 残渣撤去まで 但し、は種 又は定植の 15日前まで/1回	※B
前作のきゅうりの ホモブシス根腐病蔓延防止			
前作のきゅうりの コナジラミ類蔓延防止			※D
前作のきゅうりの 褐斑病、つる枯病蔓延防止			
前作の野菜類 又は花き類・ 観葉植物のアザミウマ類蔓延防止	40～60ℓ/10a		※B
前作の野菜類 又は花き類・ 観葉植物の古株枯死			※B・D

※A 散布混和：所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
※B 希釈散布/灌水：あらかじめ被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。
※C 注入：所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し、直ちに被覆または覆土・鎮圧する。
※D 所定量の薬液を水で希釈し、土壌表面に散布または灌水する。

土壌消毒

定植期

生育期 (本圃での散布)

収穫期

定植期の害虫には…

適用害虫名	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
アブラムシ類	0.5～1g/株	定植時/1回	株元散布
	0.5g/株	定植後、但し 収穫30日前/1回	

適用害虫名	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類 ウリハムシ	2g/株	育苗期後半～ 定植当日/1回	株元散布





(28)

適用害虫名	使用量		使用時期 ／使用回数	使用方法
	薬量	希釈水量		
アザミウマ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	400株 当り 25mℓ	400株当り 10～20ℓ (1株当り25～50mℓ)	育苗期後半～ 定植当日 /1回	灌注
アブラムシ類		400株当り 2～20ℓ (1株当り5～50mℓ)		
		アザミウマ類	400株当り 20～200ℓ (1株当り50～500mℓ)	定植直後 /1回
400株当り 20ℓ (1株当り50mℓ)				

(注意:定植時までの処理及び定植直後の株元灌注は合計1回以内)

◎薬剤使用の際は、登録内容を確認の上、登録使用基準を遵守してください。 ◎本資料は、2026年8月現在の登録に基づいて作成しています。

生育期～収穫期の病害には…

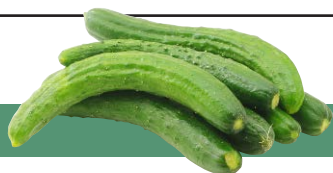
適用病害名	製品名	希釈倍数 または使用量	使用時期／ 使用回数	その他の適用病害
灰色かび病	ベルコートフロアブル(M7)※1	2000倍	前日/7回	褐斑病、炭疽病、菌核病、黒星病
	ミギワ10フロアブル(52)	1000倍	前日/3回	炭疽病、つる枯病
	ゲッター水和剤(10,1)	1500倍	前日/5回	炭疽病、菌核病
	フルピカフロアブル(9)※1	2000～3000倍	前日/4回	褐斑病、うどんこ病
うどんこ病	フルピカくん煙剤(9)	50g/500m ³	前日/4回	うどんこ病
	ベルコートフロアブル(M7)※1	2000倍	前日/7回	褐斑病、炭疽病、菌核病、黒星病
	パンチョTF顆粒水和剤(U6,3)	2000倍	前日/2回	—
	トリフミン水和剤(3)	3000～5000倍	前日/5回	黒星病、つる枯病(3000倍)
	フセキワイドフロアブル(M7,53)	1000倍	前日/4回	つる枯病
	トリフミンジェット(3)	50g/400m ³	前日/5回	—
	ダコニールジェット(M5)	20g/100m ³	前日/8回	べと病
	パンチョTFジェット(U6,3)	50g/400m ³	前日/2回	—
べと病	ビシロックフロアブル(U17)※3	1000倍	前日/3回	—
	ベトファイター顆粒水和剤(27,40)	2000～3000倍	前日/3回	—
	ストロビーフロアブル(11)	3000倍	前日/3回	うどんこ病、炭疽病、褐斑病
	エトフィンフロアブル(22)	1000倍	前日/4回	—
褐斑病	ゲッター水和剤(10,1)	1500倍	前日/5回	炭疽病、菌核病
	カンタスドライフロアブル(7)	1500倍	前日/3回	灰色かび病、菌核病(1000～1500倍)
菌核病	トップジンM水和剤(1)	1500～2000倍	前日/5回	※2
	ファンタジスタ顆粒水和剤(11)	2000～3000倍	前日/3回	灰色かび病
	ミギワ10フロアブル(52)	1000倍	前日/3回	炭疽病、つる枯病
つる枯病	ファンベル顆粒水和剤(M7,11)	1000倍	前日/3回	菌核病、褐斑病、黒星病、灰色かび病、炭疽病

※1：常温煙霧登録あり ※2：黒星病、炭疽病、つる枯病、うどんこ病、灰色かび病 ※3：うり類登録

生育期～収穫期の害虫には…

適用害虫名	製品名	希釈倍数 または使用量	使用時期／ 使用回数	その他の適用害虫
アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	2000～4000倍	前日/3回	ウリハムシ(4000倍)
	モスピランジェット(4A)	50g/400m ³	前日/3回	—
コナジラミ類	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	2000～4000倍	前日/3回	ウリハムシ(4000倍)
	モスピランジェット(4A)	50g/400m ³	前日/3回	—
ミナミキイロアザミウマ	モスピラン顆粒水溶剤(4A) (アザミウマ類登録)	2000～4000倍	前日/3回	ウリハムシ(4000倍)
	モスピランジェット(4A)	50g/400m ³	前日/3回	—
ウリノメイガ	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	2000倍	前日/3回	ウリハムシ(4000倍)
	フェニックス顆粒水和剤(28)	2000～4000倍	前日/3回	ハスモンヨトウ
ハダニ類	ダニオーテフロアブル(33)	2000倍	前日/2回	—
	ニッソラン水和剤(10A)	2000～3000倍	前日/2回	—
	ピラニカEW(21A)	2000～3000倍	前日/1回	アブラムシ類(2000倍)
	テルスタージェット(3A)	48g/400m ³	前日/3回	—

◎薬剤使用の際は、登録内容を確認の上、登録使用基準を遵守してください。 ◎本資料は、2026年8月現在の登録に基づいて作成しています。

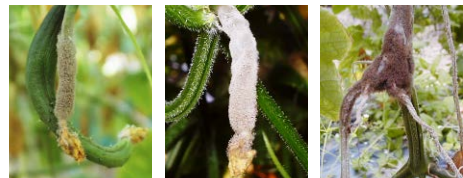


きゅうり病害虫図鑑

病害

【灰色かび病 *Botrytis cinerea*】

病斑上の病原菌や、地表面に菌核として残った病原菌が、伝染源となる。次期作では、そこから孢子が飛散して伝染する。



灰色のかびが密生する 発病幼果 発病茎
適用薬剤 ミギワ10フロアブル、ファンタジスタ顆粒水和剤 など

【褐斑病 *Corynespora cassiicola*】

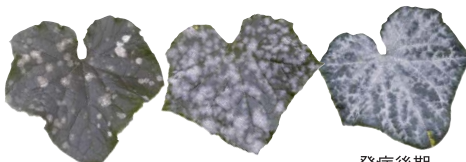
発病茎葉や農業資材などに付着した病原菌が、長期に生存して伝染源となる。葉に黄褐色の円形小斑点を生じ、後に同心円紋の大型病斑を生じる。



小型病斑 小型・大型混在病斑 発病後期
適用薬剤 ゲッター水和剤 など

【うどんこ病 *Golovinomyces cucurbitacearum, Leveillula taurica, Podosphaera xanthii*】

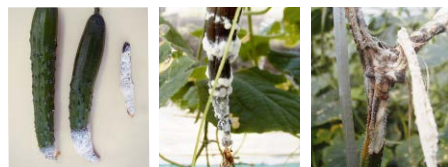
うり類が周年栽培される地域では、次々に伝染が繰り返される。晩秋に子のう殻が形成され、翌年の伝染源となる。やや乾燥した条件で発生しやすい。



発病中期 発病後期 発病後期 (葉脈に沿った病斑)
適用薬剤 バンチョTF顆粒水和剤、ベルクートフロアブル など

【菌核病 *Sclerotinia sclerotiorum*】

地表面に落ちた菌核が伝染源となる。次期作では、そこから孢子が飛散して伝染する。果実、茎、葉に白色綿状のかびを形成し、後にネズミ糞状の菌核を生じる。



被害程度の異なる発病果 発病果に生じた菌核 発病茎に生じた菌核
適用薬剤 トップジンM水和剤、ファンタジスタ顆粒水和剤 など

【べと病 *Pseudoperonospora cubensis*】

病原菌は発病葉で越冬する。きゅうりの周年栽培されている地域では、常時孢子が飛散しているため発生しやすい。葉に葉脈で区切られた多角形の黄色病斑を生じる。



発病初期 発病中期 発病後期
適用薬剤 ビシロックフロアブル、ベトファイター顆粒水和剤 など

【炭疽病 *Colletotrichum orbiculare*】

病原菌は発病茎葉や支柱に付着して越冬し、翌年の伝染源となる。葉に淡褐色の円形病斑を生じる。葉の病斑は内部がへこみ、穴が空きやすい。果実にも窪んだ病斑を生じる。



発病初期 発病中期 発病後期
適用薬剤 ミギワ10フロアブル、ゲッター水和剤 など

害虫

【ワタアブラムシ *Aphis gossypii*】

葉や果実からの吸汁により、作物の生育が抑制。果実への寄生による品質低下を招き、モザイク病の媒介をする。



有翅成虫と無翅成虫 体長1.5mm 新葉の寄生状況
適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

【オンシツコナジラミ *Trialeurodes vaporariorum*】

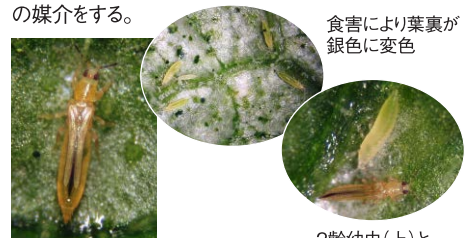
幼虫および成虫の葉からの吸汁により、作物の生育が抑制。排泄物によってすす病が発生、黄化病の媒介をする。



3齢幼虫(0.5mm)と4齢幼虫(0.8mm) 成虫 (全長1.5mm) オンシツコナジラミの排泄物によるすす病
適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

【ミナミキイロアザミウマ *Thrips palmi*】

幼虫および成虫が、葉および果実を食害。黄化えそ病の媒介をする。



雌成虫(体長1.2mm) 2齢幼虫(上)と雄成虫(下) 食害により葉裏が銀色に変色
適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

【ワタヘリクロノメイガ(ウリノメイガ) *Diaphania indica*】

幼虫により、葉や果実・茎が食害される。



若齢幼虫(体長4mm) 成虫(体長15mm) 老齢幼虫(体長16mm)
適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

【ナミハダニ *Tetranychus urticae*】

加害により、葉の表面に白点を生じ、増殖すると葉が萎縮し枯れる。



卵(直径0.15mm)、第1若虫(0.25mm)、第2若虫(0.35mm) 多発し巣網が張られた葉 成虫(体長0.5mm) 被害葉
適用薬剤 ダニオーテフロアブル

【ハスモンヨトウ *Spodoptera litura*】

幼虫により、葉および果実が食害される。



中齢幼虫(体長13mm) 老齢幼虫(体長20mm) 幼虫による被害果
雄成虫(前翅長18mm) 雌成虫(前翅長20mm) 卵塊 幼虫による被害葉
適用薬剤 フェニックス顆粒水和剤 など

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
お問合せ (03)4212-9655
(平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)



HPIは
こちらから



LINE公式
アカウント